がん具、刃物を取り扱われているみなさまへ

◎ 有害がん具、刃物類の販売等の制限

奈良県青少年の健全育成に関する条例（第22条）では、

- ・ がん具刃物類の販売を業とする者は、青少年に、有害指定されたがん具刃物類を販売し、頒布し、又は貸し付けてはならない、とされています。
- ・ また、何人も、青少年が業務その他正当な理由により所持する場合を除き、青少年に有害がん具刃物類を所持させないようにしなければならない、とされています。

◎ 条例関係告示の抜粋(青少年に有害ながん具刃物類の指定) ※令和7年7月1日現在

品名	形状・構造	機能	指定理由
がん具銃	銃砲刀剣類所持等取締法（昭和33年法律第6号）第2条第1項に規定する銃砲以外のがん具用の銃砲で、パネ、圧縮空気、圧縮ガス又はゴムの力を利用して弾丸その他これに類する物（以下「弾丸等」という。）を発射させるもの。	当該がん具銃用の弾丸等を装てんし、発射した場合において、発射された弾丸等の有する単位面積当たりのエネルギー値が銃口の直前で0.05 kgf・m / cm ² 以上のもの。	人の生命、身体若しくは財産に危害を及ぼし又は青少年の犯罪を誘発し、青少年の健全育成を阻害するおそれがある。
スリングショット	腕あてで固定し、握りから角状に出る2本の棒に取り付けられたゴム等の弾力を利用して弾丸等を発射させるもの。	当該スリングショットのゴム等を最大限に近い状態に引き伸ばし、弾丸等を発射した場合において、発射された弾丸等の有する発射直後の単位面積当たりのエネルギー値が0.05 kgf・m / cm ² 以上のもの。	

品名	形状・構造	機能	指定理由
がん具手錠	金属又はプラスチックの材質で堅固に作られ、特定の錠によって錠をはずすことが可能なものであって、手の自由を拘束することが可能な内径を有するちょうつがい式二輪の各輪を相互に連結した形状を有するもの。（安全装置付きのものを含む）	手の自由の拘束	身体に危害を及ぼし、又は青少年の犯罪を誘発し、青少年の健全な育成を阻害するおそれがある。

品名	形状・構造	機能	指定理由
クロスボウ	銃型の弓で、銃同様に引き金を引くことで矢を発射させることができるもの	当該クロスボウに矢を装填し、発射した場合において、当該発射された矢の有する単位面積当たりのエネルギー値が、装填時の矢の先端から1mの距離で0.05 kgf・m / cm ² 以上のもの	人の生命、身体若しくは財産に危害を及ぼし、又は青少年の犯罪を誘発し、青少年の健全な育成を阻害するおそれがある。

備考

単位面積当たりのエネルギー値の目安0.05 kgf・m / cm²（重量キログラム・メートル毎平方センチメートル）とは、射角水平度で弾丸等を発射した場合において、銃口及びゴム等を最大限に近い状態に引き伸ばした点から3メートルの距離にある四隅を支え持った状態の新聞紙5枚以上を貫通する威力を有する物に相当する。

品名	種類	形状・構造	指定理由
ナイフ	1 折り畳み式のナイフ	銃砲刀剣類所持等取締法施行規則(昭和33年総理府令第16号)第17条の規定により測定した刃体の長さ(以下「刃体の長さ」という。)が6センチメートルを超えるナイフであって、通常は柄の内部に刃体が収納され、使用に際し、刃体又は柄を回転させることによって開刃させ、刃体と柄を直線的に固定させる装置を有するもの	人の生命、身体若しくは財産に危害を及ぼし、又は青少年の犯罪を誘発し、青少年の健全な育成を阻害するおそれがある。
	2 固定式のナイフ	刃体の長さが6センチメートルを超えるナイフであって、刃体が柄に固定され、刃先が片側又は両側にあるもの(銃砲刀剣類所持等取締法施行令(昭和33年政令第33号)第9条第3号に規定するくだものナイフ、同条第4号に規定する切出し、カッターナイフ、くり小刀、花小刀、ペーパーナイフ、キッチンナイフ、和包丁、パン切りナイフ、冷凍ナイフ、食事用のナイフ、電工ナイフ、剪定ナイフ及びカミソリナイフを除く。)	
	3 スライド式のナイフ	刃体の長さが6センチメートルを超えるナイフであって、通常は柄の内部に刃体が収納され、使用に際し止め具を外して柄を振ること等により刃体を露出させ、止め具によって刃体を柄に固定させる装置を有するもの(クラフトナイフを除く。)	
	4 仕込み式のナイフ	外観はペン又は楯の形状をし、刃体を内蔵したもの(カッターナイフを除く。)	